



D2C EXPERT ASSOCIATION

2026年6月25日（木） D2Cエキスパート協会 第3回プレミアムセミナー&懇親会



～次の成長へのヒントを掴む1日～



特別講演 1

笑われた広告が、勝った！

ーAI時代に取り戻す、
D2Cマーケティングの「楽しさ」ー

「あきゅらいず」共同創業者
よりよい株式会社 会長
松本 毅史 氏



特別講演 2

景品表示法の最新動向と
実務上の対応策

ーずっと使える景表法の
生きた知識を身につけるー

日比谷総合法律事務所パートナー
弁護士・ニューヨーク州弁護士
植村 幸也 氏



特別講演 3

落語に学ぶ、商いの本質
(一席ご披露いただきます)

ー今だから必要とされる
“人情”の大切さー

五代目円楽一門会 会長兼理事長
七代目 三遊亭円楽 氏

セミナー終了後は懇親会で情報交換を！

【プログラム】

- 14:00～14:10：開会挨拶 D2Cエキスパート協会 代表理事 小畑 徳彦
14:10～15:00：特別講演1 よりよい株式会社 会長 松本 毅史 氏
15:10～16:00：特別講演2 日比谷総合法律事務所 弁護士 植村 幸也 氏
16:10～17:00：特別講演3 五代目円楽一門会 会長兼理事長 七代目 三遊亭円楽 氏
17:30～19:00：懇親会（京橋モルチェの洋食ビュッフェ&フリードリンク）

<参加費>1名につき5,000円（税込） ※正会員・賛助会員は無料

主催：一般社団法人D2Cエキスパート協会



ゲスト講演者のご紹介 1



松本 毅史（まつもと つよし）氏

「あきゅらいず」共同創業者
よりよい株式会社 会長

山口県生まれ、東京育ちの49歳。

16歳で高校を中退し、20歳でアイルランドの高校を卒業。

帰国後、大学在学中にインターネットにはまり、

学生向け評価サイトで時の人になるも、マネタイズできずに失敗。

2003年「あきゅらいず」を共同創業。

「すっぴんで、変わる」「モコモコの泡」など、業界の常識を笑いながら裏返す広告で、5年で年商20億を達成。以降、国内外10社以上を起業するも、本当に成功したのはあきゅらいずだけ——

「失敗の数」と「どん底からの根性」だけは誰にも負けない。

2023年に引退、メキシコを放浪し、ある儀式を経てAIと出会う。

2025年、よりよい株式会社に参画。

今は、D2C × AIで新しい面白さを仕掛けている。

<講演概要>

2003年、広告代理店には「こんな広告じゃ無理」と笑われた、ネガティブ訴求を使わない洗顔石鹸の泡とすっぴん社長とスタッフだけのチラシ。

それが、CPA3,000円の大ヒットになりました。あきゅらいずは、ポジティブ広告だけで、5年で年商20億を作りました。その後、2016年からはWEB動画広告のみで月5000件の新規獲得を実現する仕組みを構築しました。

さて、いまのD2C業界。成功モデルは確立し、効率化は進み、AIで広告は無限に作れる。

なのに、なぜか窮屈で、面白くない。お客様のリピート率は落ち、業界全体も伸び悩む——もしかして、私たちは「楽しい」を、どこかに置き忘れていないでしょうか？

この講演では、25年現場でやってきた「楽しさで売る」という哲学と、AIという新しい道具の話を、私自身の物語と一緒に話します。

AIは効率化のツールではありません。人間の創造性に翼をつける道具です。あの頃インターネットが面白かったように、いまAIは、もっと面白い。

ゲスト講演者のご紹介 2



植村 幸也（うえむら さちや）氏

日比谷総合法律事務所パートナー
弁護士・ニューヨーク州弁護士

1995年京都大学法学部卒業。1998年弁護士登録
2002年ニューヨーク大学卒業（LL.M.）
専門は独占禁止法、取適法（旧下請法）、景品表示法等
神戸大学大学院法学研究科非常勤講師（独占禁止法）
東京都デジタル広告表示適正化対策専門助言員

『製造も広告担当も知っておきたい 景品表示法対応ガイドブック（改訂版）』（第一法規）
ほか著書・論文多数
「弁護士植村幸也公式ブログ：みんなの独禁法。」を運営

<講演概要>

景表法は本来とても簡単な法律です。突き詰めれば、「広告では嘘を言ってはいけない」というだけのことであり、常識さえあれば十分対応可能なはずです。

ところが最近、ステマ規制が導入されたり、消費者庁が広告の意味を厳格に（事業者に厳しく）解釈するようになったため、常識を超える部分についても最低限のことは知っておく必要があるようになりました。

本講演では、消費者庁による最近の景表法違反の摘発事例を中心に、通販業者が景表法上気をつけるべきポイントについてお話しします。

事例は最近のものを使いますが、お伝えしたいのは表面的な情報ではなく、一度身につけたらずっと使える、景表法の生きた知識です。

インターネットの記事や書籍では伝わりにくい、リアルな景表法について実感していただけたらと思います。

ゲスト講演者のご紹介 3



七代目 三遊亭円楽（さんゆうてい えんらく）氏

五代目円楽一門会 会長兼理事長

平成13年に五代目 三遊亭円楽に入門。27番目、最後の弟子となり、同時に父（笑点のレギュラーメンバーの三遊亭好楽師匠）とは兄弟弟子となる。

師匠円楽からは過去最多の10演目を直接師事され、平成16年5月に二ツ目に、平成21年10月に真打昇進。三遊亭王楽として活躍。

伸びやかな感性と現代性が特徴であり、持ちネタは現在200に迫る勢い。

NHK新人コンクール大賞受賞した「鼓ヶ滝」をはじめ、「片棒」「夢金」「三枚起請」「五貫裁き」といった古典作品に加え、自作の新作落語を積極的に発表している。自作新作落語の代表作は「パパずれてるッ!」「祭りのあと」など。

令和7年2月、七代目 三遊亭円楽を襲名。令和8年4月、五代目円楽一門会 会長兼理事長に就任。

<講演概要>

落語は江戸時代の町人文化の中で生まれ、商人の駆け引きや人情、失敗と再起を描きながら発展してきた伝統芸能です。現代のビジネスと同様に、登場人物たちは判断を誤り、時に損をしながらも、そこから学び、立ち直っていきます。その過程には、人が動く理由や信頼が生まれる瞬間といった、商いの本質が色濃く表現されています。

たとえば「芝浜」に描かれる大金を巡る選択と人生の立て直し、「掛取万歳」に見る商人と客との関係性や交渉の妙、「時そば」に象徴される機転と商売感覚など、古典落語には現代にも通じるビジネスのヒントが数多く織り込まれています。こうした物語は単なる笑いとどまらず、人間の意思決定や行動心理を映し出す“生きた教材”とも言えます。

令和7年に七代目を襲名した三遊亭円楽師匠は、伝統を受け継ぎながらも現代に通じる人間描写で多くの観客を惹きつける存在です。

今回は、落語という完成された話芸の中にある人間の本質や価値観に触れていただきます。笑いの中にある気づきから、ビジネスにおける重要な視点を感じ取っていただけるひとときをお届けします。

***本演目の前に三遊亭兼太郎 氏（五代目円楽一門会所属 二ツ目）による一席もあります。**

大学卒業後、サラリーマン、介護士等様々な職を経験し、2013年三遊亭兼好に入門し2017年に二ツ目に昇進。

明るくテンポの良い語り口が持ち味の、若手落語家として注目を集めている。



セミナー会場：TKPガーデンシティPREMIUM京橋ANNEX ホールA

東京メトロ銀座線京橋駅6番出口を出てすぐ、京橋イーストビル5F。1Fのみずほ銀行が目印です。道路を挟んで向い側の京橋エドグランに「TKPガーデンシティPREMIUM京橋」がありますが、**セミナー会場は「ANNEX」**の方ですのでご注意ください。



懇親会会場：京橋モルチェ（セミナー会場向い側京橋エドグラン地下1階）

東京メトロ銀座線京橋駅直結。改札（8番出口側）を出て直進し京橋エドグランへ。右側に京橋モルチェがあります。セミナー参加者の方々は6番出口から下って京橋エドグランに入ります。



改札を出てそのまま直進、右側

